

阿 都 第 9 6 4 号

平成20年10月24日

国土交通省道路局長 殿

阿久根市長 竹 原 信 一



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました標記のことにつきまして、別紙のとおり提出いたしますのでよろしくお願いします。

（連絡先）

阿久根市役所都市建設課

都市建設課長 飛松 義行

☎0996-73-1211（内）1120

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県 阿久根市

かねてから、本市の道路行政につきましては、特段の御支援と御高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

国におかれましては、2009年度から全額一般財源化する方針を本年5月に閣議決定し、同年6月には、「経済財政改革の基本方針2008」に道路特定財源の一般財源化が明記されたところですがマスコミ等の報道では、地方の声や実情等も無視され、いかにも地方の道路整備は必要ではないような報道がなされてきました。

この間、地方におきましては、ガソリン等が値上りしても、道路を走る車は従来とほぼ変わらず、車に代わる公共交通機関が整備されていないことが伺えます。このように地方では、車は生活の必需品であって、車なくして日常の生活が成り立たなくなっているのが現状であります。

このようなことから地方にとっては、幹線道路の建設に合わせて、道路の補修、改良、改修に多大な費用を要するものであります。

本市は、大都市や県都から遠隔の地に位置し、九州新幹線の開業に合わせ並行在来線は廃止となり、南九州西回り自動車道も最後の整備計画の地域となっており、道路整備の推進は、産業、経済、観光の活性化をはじめ、文化の振興など地域の住民の期待は、大きなものがあります。

また、阿久根市が、早期完成を必要としております高速道として「北薩横断道路」があります。

本道路は、県が事業推進しており、阿久根・出水地域と鹿児島空港、九州自動車道、大隅地域へのアクセスする地域高規格幹線道路であり重要路線にも係らず、その進捗状況は極めて低いものであります。

北薩地域の将来の発展を約束される道路だけに市民の期待度は多大なものであり、事業の大幅な進展と高尾野ICから阿久根間への調査区間への早期格上げ等を強く要望いたします。

この他に、市道の改修事業などがありますが、平成21年度までの「第4次阿久根市総合開発計画」及び「阿久根市過疎地域自立促進計画」では、市道10路線を改修する旨の計画をたてておりますが、財源の関係で4路線だけしか事業に着手できていない現状にあります。

また、管理面については、毎年市民からの維持補修の要望が増大し、現時点で要求のある箇所を補修施工すると、6億円以上の財源が不可欠となり、改修事業と同様に財源不足に陥る状況にあります。

以上をふまえ、道路財源については、真に必要な道路整備を計画的に進めることを基本理念とし、地方の声や実情に十分配慮すると共に、今後とも安定した財源の確保に努めてくださるよう強く要望します。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

鹿児島県 阿久根市

交流を促進する道路・交通網・地域情報基盤の整備

効率的で安全な道路網の整備

【現状】

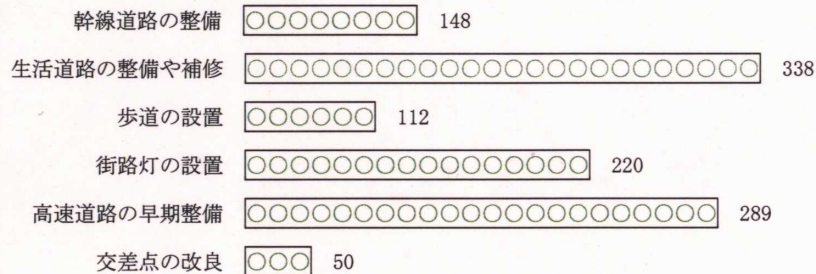
南九州西回り自動車道は、平成17年2月田浦ICまで又、平成19年3月薩摩川内都ICまで、それぞれ供用開始され、出水～阿久根間は、平成20年3月に着工式が行われました。このように着実に事業推進が図られておりますが、残された川内～阿久根間については、基本計画区間の状況であります。

国道3号及び国道389号は、本市の主要幹線道路として交通量も多く、改良整備が進んでいますが、歩道が狭いところや段差があるなど危険箇所の解消が課題となっています。

また、県道は、主要地方道阿久根東郷線をはじめ8路線で総延長54km、改良率75.9%、舗装率100.0%であり、国道の補完的機能も有しており、特に阿久根東郷線は、空港、鹿児島市への重要なアクセス道として、完全整備が強く望まれています。

市道は、交通量の増大に伴い、大型車両への対応も遅れており、幹線道路でも幅員が狭小な箇所や、生活道路においては緊急車両の進入が困難な箇所もあり、非常時に対応した道路の拡幅が必要となっています。

交通体系の整備について何に力をいれていくべきと思いますか



資料：平成16年度「阿久根市まちづくりアンケート調査」

【課題】

- ① 高速交通ネットワークの形成 ② 主要幹線道路の効率性及び安全性の向上



南九州西回り道阿久根北インター
完成イメージ写真



国道3号と県道阿久根東郷線の
街路交差点計画地点

- ③ 生活道路の機能向上



市道改良拡幅計画地点（2車線の延長）

- ◎ 道路特定財源の一般財源化により、高規格道路だけでなく一般道の整備維持補修など、市民の生活道路への影響も懸念され、地方にとって生命線ともいえる道路整備は、まだまだ必要不可欠なものとなっています。

今後も整備促進が図れるよう十分な財源を確保してもらえるかが課題です。

【第4次阿久根市総合開発計画 基本方針】

① 高速交通体系の整備促進

高速交通ネットワークの形成により、物と人と情報の交流圏が拡大することが期待されている南九州西回り自動車道、鹿児島空港へのアクセス道路としての北薩横断道路、九州西岸軸構想に基づく島原天草長島連絡道路の早期整備を関係機関に働きかけるとともに、高速交通がクロスする拠点としての機能を見据えた道路整備を推進します。

② 国道・県道の改良整備の促進

国道・県道の拡幅改良整備の促進により、広域交通としての機能充実に努めるとともに、高齢者や障害者にやさしいバリアフリーを目指した道路の整備を行うなど、歩行者にとって安全で快適な道路の整備に努めます。

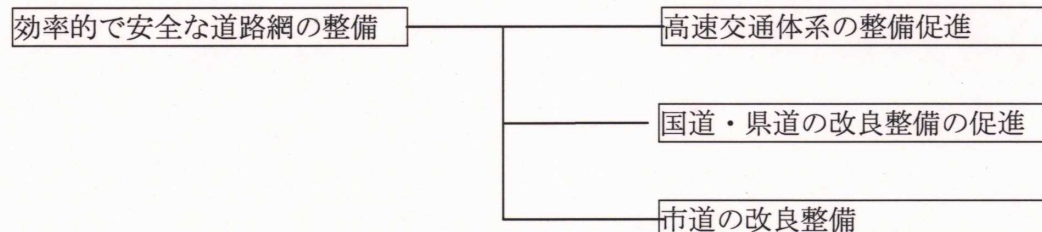
③ 市道の改良整備

市道は、側溝改修等を中心とした拡幅改良による整備を推進し、産業振興、市民生活の利便性の向上、災害時や緊急時に対応できる道路としての機能充実に努めます。

◎ 施策の体系

(施策)

(基本事業)



○重点事項 ・地域活力の向上	○代表事例 南九州西回り自動車道 北薩横断道路 過疎地域における阿久根市の展開 (生活幹線道路ネットワークの形成)	○期待する効果や評価等 南九州西回り自動車道は、南九州西部地域の都市、空港、港湾等との有機的連携を強化するとともに、交流を飛躍的に高め、地域の産業、経済、観光の活性化や文化の振興等に計り知れない大きな効用をもたらす極めて重要な幹線道路であると認識しながらも、一方では高速交通ネットワークがつながることで、市町村の空洞化が進むことを懸念しています。 北薩横断道路は、阿久根、出水・北薩地区から鹿児島空港、九州縦貫自動車道へのアクセス道路で、隣県三県への広域交流ネットワーク形成を図る上で極めて重要な役割を果たすものであり、将来的には島原・天草・長島連絡道路とも接続の構想もあることから、阿久根・出水地区、さらには、２１世紀の活力ある地域圏形成の実現を図る上で、緊急必要不可欠な道路であり、アクセス向上などの利便が大きく図られるものと考えます。 阿久根市においては、日常生活の移動の約９割を自動車に依存しており、これを支える生活幹線道路の整備や機能向上は、必要不可欠であります。 高度医療機関の広域的活用や産業・観光振興等により、安心して暮らせる地域社会の形成や地域経済の活性化を図るため、インターネット等へのアクセス確保などの地域の生活を支える幹線道路ネットワークの形成が重要と考え、活力ある地域の実現のために道路施策を推進するところです。	○その他
-------------------------------------	--	---	--------------------